

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月13日

団体名 茶道裏千家淡交会三河青年部

代表者 浅野知子

構成員 50人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

日本文化の興隆発展に寄与するという目的事業に基づき、茶道を実践研究することにより、人格の陶冶、美術鑑賞への関心を深め、社会奉仕の精神を養い、あわせて会員相互の親睦をはかり、日常生活の向上に精進することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
3月23日	奥殿陣屋	市民(教室参加者)	37名	親子抹茶教室(親子での抹茶体験と作法を体験することで日本伝統文化を学んでいただいた。)

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

玄々斎にゆかりのある奥殿陣屋にて、青年部会員が講師となり親子マナー教室を開催し市民の方に茶道という伝統文化に触れて体験していただくことによって日本の伝統文化を知っていただく機会を作っていると思います。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

親子抹茶教室は、毎年恒例で同じ時期に奥殿陣屋にて開催し、継続的に参加をして下さる市民の方が多い。日本の伝統文化であるお茶を通じて見て、触れて、体感していただくことにより、日本文化に関心が高まり団体の活動が理解されているものと思います。